

# 「江戸川区公共施設再編・整備計画（案）」

## の意見募集結果について

「江戸川区公共施設再編・整備計画（案）」に関する意見募集手続きは、令和5年10月1日から10月14日までの期間で行いました。その際、26名より計67件のご意見をいただきました。お寄せいただいたご意見及び区の考え方は、以下の通りです。

### 1 意見募集手続の概要

#### (1) 意見募集期間

令和5年10月1日から10月14日までの間

#### (2) 周知方法

ア 区公式ホームページに掲載

イ 令和5年10月1日号の「広報えどがわ」に掲載

新庁舎・施設整備部計画課窓口に掲載用の印刷物を設置

#### (3) 意見の提出方法

ア 区公式ホームページ

イ 持込み又は郵送

#### (4) 提出先

新庁舎・施設整備部計画課計画係

### 2 意見募集の結果

	頂いたご意見	区の考え方
1	葛西図書館にエレベーターを設置してほしいです。葛西図書館にベビーカーで子どもを連れて行く事が多く、上の階に上がりたくてもエレベーターが無いため上がらない現状です。どうかよろしくをお願いします。	施設整備の際にはユニバーサルデザインの視点を取り入れ、誰もが安心して使いやすい施設の整備を推進していきます。
2	計画内容については各論詳細であるように見えるが、中身は総花感が強い感じ。総論的には賛成したいが、以下の点は再考が必要と考える。	ご意見として承ります。 2022年度に表明した「江戸川区カーボン・マイナス都市宣言」に基づき、公共施設においても脱炭素化に向けた取り組みを推進していきます

	<p>脱炭素社会の対応は必要か？：昨今、当該施策は一部の利権の為のものであると認識されつつある。特に再エネ議連による汚職、EV車の限界、太陽光発電による環境破壊や公共料金の高額化、そもそもCO2排出量が問題なのかの科学的検証の欠如などなど・・・</p>	<p>す。</p>
3	<p>官民協業のさらなる推進：事業の費用対効果の明確化と効率化の推進</p>	<p>区の財政負担を軽減させ、区民に質の高いサービスを効率的に提供できるよう、さまざまな民間の活力とノウハウの活用を検討していきます。</p>
4	<p>人口推計の定点評価と差異が発生した場合の対応方法の事前設計（PDCAの正しい運営）：公共施策失敗の回避（多くの公共施設が当初推計の乖離によって事業が失敗など）</p>	<p>計画の推進に向けて、社会状況の変化等に応じて、適宜修正・見直しを行っていきます。</p>
5	<p>都政施策の反映：電柱地中化や臨海公園の森林伐採と太陽光パネルの設置など意味不明な施策の回避（太陽光パネル：製造時のエネルギー過剰、製品の危険性、出火時の対応、不安定なエネルギー供給、廃棄時の課題、蓄電低効率、及び利権）</p>	<p>ご意見として承ります。</p>
6	<p>素晴らしいと思います。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p>
7	<p>再編にかかるコストや労働人口減少を踏まえ、今ある施設を活かしながらもどのように再編していくかさまざまなデータを元にご検討されていると思います。また全体的なコンセプトとしては遠くても歩いていける範囲で行政サービスを皆が安心して受けられることを目指されていると思いました。</p> <p>その上で、今後の長期的なビジョンとして区内の交通網や道路の整備にも触れていただき、より区内で効率よく財政的にもコンパクトに移動できる手段もご検討いただければと思います。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>
8	<p>ミニ区役所についてはとてもよい試みであると思います。ただ、コミュニティ会館やなごみの家などの機能等なんでもここで盛り込んでしまうと稼働率の低いスペースを増やしたり、人件費がかかるだけで役割もボヤけてしま</p>	<p>ミニ区役所は、今後必要な機能等について詳細な検討を行い、各地域の実状を踏まえて整備していきます。</p>

	うと思われます。できれば区の行政サービスの窓口の特化し、情報弱者の方でも安心してサービスが受けられる拠点とした方が良いと思われます。	
9	学校をサービスの拠点として考えておられますが、子供たちには大切な教育に集中できる場所であり、セキュリティの面からも誰でも使えるようにすることは強い不安があります。できれば学校の教育機能は切り離して特化した方良いかと思ひます。	これから建設する学校に関しては、児童・生徒の安全、安心を最優先にするとともに、必要な教育機能を確保していきます。そのうえで、図書館サテライトなどの新しい機能や、需要の変化などによるレイアウト変更に対応しやすい可変性のある構造の導入を検討していきます。
10	区民館の利用は高齢の女性の利用割合がかなり高いことが調査結果でわかりました。コミュニティ会館等含め貸し出し用のスペースはそれ以外の方の利用も増えるよう、例えば歌や楽器の練習ができる防音スペース、大人も子供も利用できる生涯学習スペースとして開放したり、民間の商業施設を隣接させるなどして若い人や親子連れが使いやすくする、また少額でも利用料を徴収して居場所づくりを進めることで、施設の維持に繋げ、街も活気付くのではないかと思ひます。平日は働く人も増え以前と比べ平日の稼働率も変化していると思ひます。江戸川区外の施設に任せられる機能は任せ、江戸川区として持つべき施設とは何か、老朽化した施設も多いので作り替える時にはご配慮頂けると良いかと思ひます。	ご意見として承ります。 今後はニーズに合わせて稼働率、利用者の拡大に向けた工夫を検討していきます。 また、自治体の枠を超えた検討の可否も含めて、近隣自治体との調整も進めていきます。
11	国際紛争、地球温暖化・気候危機、日本経済の停滞、少子高齢化、東京一極集中などの諸問題がこのまま 2100 年まで変わらないとは考えるににくい。人智を集めた方策が出てくると考えるので、2100 年を見据えたというのはあまりにもスパンが長すぎないか。フレキシブルな検討・さらなる見直しの時期がまた来ると思ひます。	計画の推進に向けて、社会状況の変化等に応じて、適宜修正・見直しを行っていきます。
12	公共施設とはそもそも税で賄うもの。使う区民も使わない区民もあるがみんなが利用可能な施設として存立しているはずです。学校を考えれば手っ取り早い。子供のいない人にはいら	ご意見として承ります。

	ない施設でしょうか。そんなことを考える方はいないと思います。子供は次の時代を担う存在だからみんなが責任を負って投資しているのです。受益者負担に比重を置いた公共施設の在り方・考え方は「公共」の本質を失わせます。	
13	民間事業者・民間資源・活力などの活用についてです。「民間」は当然、利益・収益があって成り立つ事業です。ここには、「公共」と相いれない本質があります。したがって区からの資金投入や上下方式ですすめられています。しかし、結局のところ人件費・資材などを抑え、収益性の高い施策が優先されます。場合によっては、撤退もあります。公営ですすめることの意味はふかいところにあると考えています。	区の財政負担を軽減させ、区民に質の高いサービスを効率的に提供できるよう、さまざまな民間の活力とノウハウの活用を検討していきます。
14	学校プール問題です。猛暑の中で今年の夏も水難事故が多く起きました。子どもたちが水に親しむ・水難から身を守るためのプール指導は大事な自治体と学校の仕事です。学校プールの集約化は、教職員の負担を増やし子どもたちの学習時間に無駄ができます。各校のプールは防火用水としても大切にされてきたものです。費用や効率では測れない価値があります。「各校にプール」です。	水泳は生命にかかわる学習であることから、水泳指導は重要であり、今後も継続して実施していきます。 そのうえで、今後の学校プール施設の整備については、安定的な授業の実施や教職員の負担軽減、地域住民の利用など、さまざまな視点から検討を行っていきます。 また、地域の防火水槽の充足状況や代替設備を考慮し、検討を行っていきます。
15	意見募集について 募集期間が短すぎます。今回も読み込み切れず一部分の意見表明にとどまりました。周知期間に2週間(区のお知らせは月2回です・回覧で回ってきたのは9日でした)は必要です。HPにアクセスして急いでざっと読みとばしていま13日これを書いています。募集期間を30日以上に設定してください。	本計画は、8月に【基本的な考え方】を示し、意見募集(パブリック・コメント)を実施しています。今回、計画全編を示して2回目の意見募集(パブリック・コメント)を実施しました。 今後も、本計画の推進に向けて、様々な場を活用しながら区民の意見を伺っていきます。
16	スポーツランドや小学校のプール廃止の計画がありますが、今年の猛暑連続のようにプールは夏場の子どもたちの命に係わる重要な施設です。廃止しないでください。	ご意見として承ります。 スポーツランドのプール機能は、他の施設へ機能移転することを検討します。 今後の学校プール施設の整備については、安定的な授業の実施や教職員の負担軽減、地域住民の利用など、さまざまな視点から検討を行っていきます。

17	<p>パーク PFI や施設の民間委託化など効率優先の施設に変える計画ですが反対です。公園は癒しの場であり、樹木は人も生物も暑さをしのぐ大切な存在です。民間の金儲けのために公共空間を提供するのは目的に反します。</p>	<p>区の財政負担を軽減させ、区民に質の高いサービスを効率的に提供できるよう、さまざまな民間の活力とノウハウの活用を検討していきます。</p>
18	<p>受益者負担でプールを例に挙げています。区の施設だと現行210円が民間になると4倍の料金になります。福祉の増進は各層各年代によりさまざまであり、一概的に決めつけるのは困難性があります。気軽に利用できる施設の在り方を望みます。</p>	<p>理論値を例として記載しています。適切な受益者負担について具体的に検討する際には、区民の声を伺いながら検討を進めていきます。</p>
19	<p>P57 下から4行目「～学校プールの整備方針を策定し、温水化したうえでの複数校での共同利用や地域開放を検討します」について</p> <p>温水化については賛成ですが、複数校での利用となると、移動に大幅な時間がとられることになり、教職員や児童・生徒への大きな負担になり問題があるのではないかと懸念されます。とりわけ水に囲まれた江戸川区では、水害対策としても、子どもたちに『溺れない水泳技術』を身につけさせることは学校教育の使命であり、区としても重視すべきです。安易に経費削減の対象にしてはいけません。</p>	<p>水泳は生命にかかわる学習であることから、水泳指導は重要であり、今後も継続して実施していきます。</p> <p>そのうえで、今後の学校プール施設の整備については、安定的な授業の実施や教職員の負担軽減、地域住民の利用など、さまざまな視点から検討を行っていきます。</p>
20	<p>コロナ禍で突然、図書館が休館してしまった時には本当に困りました。</p> <p>日々の楽しみのための読書ばかりでなく、新聞や雑誌、調べ物のための資料利用などに図書館を使っていたことに改めて気づかされました。図書館はすでに生活の一部になっています。</p> <p>若手の研究者やフリーランスの書き手なども公共図書館を利用し、頼りにしていることを知っていただきたい。</p> <p>今回、図書館の統廃合は考えられていないようですが、まだまだ区内には図書館の空白地帯があります。すべての区民、特に子どもやお年寄りの徒歩圏内に図書館を新たに整備する前向きな施策も考えていただきたい。</p>	<p>ご意見として承ります。</p> <p>図書館は、今後取り組むべき施策やサービスを踏まえて、図書館サービスの充実に向けた環境整備を検討していきます。</p>

	<p>学校図書館を「区立図書館サテライト」とするなら、今のような中途半端なサテライトでなく、区民が利用できるサテライトを考えていただきたい。また、当然のことながら、学校図書館の充実も視野にいれていただきたい。</p>	
21	<p>ユニバーサルデザインの施設づくりに賛成です。</p> <p>マイノリティの方々にもしっかりと寄り添ったデザインにするべきだと思います。</p> <p>その中でオールジェンダートイレの設置はとても重要な点だと考えます。</p> <p>昨今、とりわけトランスジェンダーの方々も安心して、当たり前前に利用できるトイレ設置の動きに対し「女性スペースの安全が脅かされるのではないか」などという意見も多く見受けられますが、トランスジェンダーの方々の人権を無視した差別的な議論となっています。</p> <p>もちろん性暴力はいかなる人に対してもあってはならないものであり、その根絶のためには社会が一丸となって向き合っていかななくてはならないもので、男性や女性、LGBTQ+など様々なジェンダーアイデンティティ・セクシュアルオリエンテーションに関係なく、性暴力の根絶に向けての働きかけが必要です。</p> <p>よって、トランスジェンダーの権利を認めることで女性の安全が脅かされるといった議論は、性暴力の根絶といったそもそもの目的から逸脱した空論であり、トランスジェンダーの人権も蔑ろにされるだけの無意味なものです。</p> <p>誰もがあたりまえに、安心して、安全に、堂々と用を足せるトイレの設置を希望します。</p>	<p>施設整備の際にはユニバーサルデザインの視点を取り入れ、誰もが安心して使いやすい施設の整備を推進していきます。</p>
22	<p>トランスジェンダーの中にはトイレを我慢している人が多く、それによって引き起こされる病気にかかる方も少なくありません。</p> <p>男女別トイレをなくしてほしいということではありません。</p> <p>誰もが気兼ねなく利用できるトイレの設置を併せてお願いします。</p>	<p>施設整備の際にはユニバーサルデザインの視点を取り入れ、誰もが安心して使いやすい施設の整備を推進していきます。</p>

23	<p>トイレで用を足す権利はみな平等であるはずです。</p> <p>安全な場所であるべきなのは当然のことですが、それはトイレに限った話ではありません。</p> <p>誰もが安心してトイレを利用できるよう、トランスジェンダー含む様々なマイノリティの方々に寄り添ったデザインのトイレの設置を考えるべきだと考えます。</p> <p>また江戸川区には多様なバックグラウンドを持つ方々が多く暮らしており、国際基準に近づける姿勢を見せることも大事だと思います。</p>	<p>施設整備の際にはユニバーサルデザインの視点を取り入れ、誰もが安心して使いやすい施設の整備を推進していきます。</p>
24	<p>区内の教職員です。学校プールの整備方針というものがあることを初めて知りました。温水化によって子どもたちの負担が減り、また教職員も天候に左右されず授業を組めるのはとてもよいことだと思います。ただ、プールのろ過器整備、環境整備は現状のまま教職員の仕事になるのでしょうか。一部教員の時間外勤務による整備のお陰でプール指導が成り立っています。それにもかかわらず、区外のニュースではありますが、水の出っぱなしで教職員が罰金となる報道に心を痛めています。</p> <p>また、プール指導の留意点が時代の要請とともに増え、負担が増えています。校内の日程調整、プール設備の管理、着替え、児童管理だけでも大変ですが、AED講習、ジェンダーに配慮した対応、性被害対策、WGBTチェックなど、気をつける項目が増えています。これらを全て教職員が担っていることに目を向け、ぜひ現場の声を聞くためにも教職員対象のアンケートを実施してください。</p>	<p>今後の学校プール施設の整備については、安定的な授業の実施や教職員の負担軽減、地域住民の利用など、さまざまな視点から検討を行っていきます。</p>
25	<p>今度、新庁舎が船堀駅前にできますね。船堀には区民が増えつつあります。船堀にはタワーホール船堀はありますが、小さい子供からご老人まで一緒に面倒な手続きをしないで利用する施設がないのです。そこでよい機会と思い、投函しました。船堀駅周辺に図書館をお願いし</p>	<p>ご意見として承ります。</p> <p>今後、本計画の考え方を基に各地域で求められる施設の具体的な検討を行っていきます。</p>

	たいです。タワーホール船堀の中でも、新庁舎の中でも結構ですので、是非とも、図書館を作ってほしいのです。宜しくお願いします。江戸川区民が健やかに暮らせるように。	
26	本一色地域にコミュニティセンターや児童館などないので、是非、作って欲しい。子育ての時は、児童館が無く、大変困った。いま、退職後、地域で何かやりたいとおもうと、グリーンパレスか、くすのきセンターなど、年寄りには、遠い。是非、近くに区民センター等作って欲しい。本一色ライフの隣に、元区民農園だったところなど土地はあるので、区で買い取るなどして、建設してもらいたい。	ご意見として承ります。 今後、本計画の考え方を基に各地域で求められる施設の具体的な検討を行っていきます。
27	スポーツセンターと小学校のプールを廃止せずに、残してほしい。本一色地域にコミュニティセンターを造ってほしい。区内に都営住宅の誘致をお願いしたい。	ご意見として承ります。 今後、本計画の考え方を基に各地域で求められる施設の具体的な検討を行っていきます。
28	宿泊施設の民営化への運営移管には反対です。	ご意見として承ります。
29	総合体育館は、残して欲しい。	ご意見として承ります。
30	本一色に区民館、コミュニティ会館を建てて欲しい。	ご意見として承ります。 今後、本計画の考え方を基に各地域で求められる施設の具体的な検討を行っていきます。
31	プールの温水化は、良いと思うが、複数校での共同利用は、リスクもあると思う。各校に必要と思う。	今後の学校プール施設の整備については、安定的な授業の実施や教職員の負担軽減、地域住民の利用など、さまざまな視点から検討を行っていきます。
32	資料が多いので、30日位の時間が必要と思う。	本計画は、8月に【基本的な考え方】を示し、意見募集(パブリック・コメント)を実施しています。今回、計画全編を示して2回目の意見募集(パブリック・コメント)を実施しました。 今後も、本計画の推進に向けて、様々な場を活用しながら区民の意見を伺っていきます。
33	広報を回覧板で各家庭に届く様に出来ないが？	「広報えどがわ」は、町会・自治会に依頼し、回覧板にて町会・自治会に加入している各家庭に回覧しています。
34	【P32、66、68】「高台まちづくり」は設計基準や整備効果基準がきわめて曖昧かつ不明確	高台まちづくりには、建築物等(建物群)によるもの、高台公園を中心としたもの、高規格

	<p>であり、「公共施設再編・整備計画」として全く意味をなしていない。なおかつ、「歩行者デッキ」がどれほどの人々の安全な避難に寄与することができるのかが全く示されておらず、費用対効果も算定されていない。「高台まちづくり」という文言を「公共施設再編・整備計画」から削除すべきである。</p>	<p>堤防の上面を活用したものがあり、命の安全・最低限の避難生活水準の確保できる避難場所にもなります。</p>
35	<p>【P69】高規格堤防とスーパー堤防は明確に設計や効果が異なるためそれらとの連携を検討するという不明瞭な表現は「公共施設再編・整備計画」として全く不適切である。高規格堤防そのものでは防災拠点となり得ないし、スーパー堤防も防災拠点を意図しない。「高規格堤防」および「スーパー堤防」という文言を「公共施設再編・整備計画」から削除すべきである。</p>	<p>高規格堤防やスーパー堤防整備事業は、それぞれの目的と機能があり、沿川地域と一体的に整備することにより、市街地の防災性を向上させます。</p>
36	<p>プールの共用利用について、多様な人がいる事を考えていただきたい。プールそのものだけでなく、利用するには、更衣室も必要になってきます。性別に違和感がある子どもや、ムスリム、アトピーで薬を塗らなければ為らないなど、様々な生きづらさを抱える子ども達が安心して使用出来るよう、簡易的な個室を作るなど、ユニバーサルなデザインでなければならぬと思います。</p>	<p>施設整備の際にはユニバーサルデザインの視点を取り入れ、誰もが安心して使いやすい施設の整備を推進していきます。</p>
37	<p>私はたまたま割り当てられた性と性自認が一致していた女性ですが、トランス女性にも優しいトイレのあり方を求めます。</p>	<p>施設整備の際にはユニバーサルデザインの視点を取り入れ、誰もが安心して使いやすい施設の整備を推進していきます。</p>
38	<p>江戸川区公共施設再編・整備計画について、2回目の意見です。</p> <p>基本的には、前回と同じ内容です。同様の意見でも総合的に判断するとすれば、提出をしたほうが良いと判断しました。</p> <p>基本的にこれから建築する建物は、長寿命化も含め、100年以上は維持できるようにしていけたらと思います。海外旅行などで、旧市街地などは数百年も維持されています。地震が多い国でもあり、耐震性を強化することで、もちろん断熱材も使用して省エネの建築物にするの</p>	<p>建物を将来にわたって長く使う努力を続けつつ、将来の社会情勢の変化による施設需要の変化に対応できる建築手法も取り入れていきます。</p>

	は当然ですが、長く利用できるシンプルな建物にしていくことが基本と考えます。	
39	公共施設の利用状況は、これから、地域によって変化していきます。区が予測できないこともあります。ですから、その時代に合った選択をしていくことも大事だと考えます。	計画の推進に向けて、社会状況の変化等に応じて、適宜修正・見直しを行っていきます。
40	<p>前回も指摘しましたが、民間資源・活力・ノウハウの積極的な活用を導入することには慎重にすべきです。park-PFIの活用がすすめられていますが、賑わいづくりが進んだ事例は少ないと思います。民間は必ず利益を追求しますから、その民間に区の財産を提供することは、民間に利益を提供することにつながるイメージがうかびます。</p> <p>PPPは試され済みの手法ではありません。慎重に対応するべきです。民間が常に公の役割を考えて企画するか、頼りすぎないようにする必要があります。</p>	区の財政負担を軽減させ、区民に質の高いサービスを効率的に提供できるよう、さまざまな民間の活力とノウハウの活用を検討していきます。
41	学校図書館を図書館サテライトとして活用し、身近な場所での資料の貸し出しなどの図書館サービスを受けられるようにしていますが、図書館並みの対応はできません。図書館サテライトを図書館の代わりにすることには無理があります。	<p>ご意見として承ります。</p> <p>今後も図書館サービスの充実に向けた環境整備に取り組んでいきます。</p>
42	学校を総合的な機能を持たせることはありえますが、学校はあくまでも子どもが主体です。無理に多様な機能を統合しないことを求めます。また、小学校プールを廃止し、中学校を温水プールにして小学校も利用するというのは無理があります。小学校1・2年生が移動することを創造してください。交通安全、荷物の持ち運び、移動時間が多くかかり、水泳の体育の授業が半分くらいしかできないことにつながります。暑い夏の日差しのなかでの移動では命の危険もあります。	<p>これから建設する学校に関しては、児童・生徒の安全、安心を最優先にするとともに、必要な教育機能を確保していきます。そのうえで、図書館サテライトなどの新しい機能や、需要の変化などによるレイアウト変更に対応しやすい可変性のある構造の導入を検討していきます。</p> <p>また、今後の学校プール施設の整備については、安定的な授業の実施や教職員の負担軽減、地域住民の利用など、さまざまな視点から検討を行っていきます。</p>
43	また、統廃合した校舎を解体するのは、避難所確保の観点からも問題山積です。	閉校となった小中学校の校舎は、劣化度調査の上、使用の継続を検討します。
44	受益者負担を打ち出したことを危惧します。	適切な受益者負担について具体的に検討す

	<p>どのような施設も、需要によって利用者は異なります。ですから、多様なニーズにこたえられる施設を工夫することで、負担の公平性が担保できると考えます。施設の特性によって施設を利用する人と利用しない人がいるのは当然です。だれもが人間らしく生活できる区民サービスを提供することが基本です。受益者負担の考え方はやめるべきです。</p>	<p>際には、区民の声を伺いながら検討を進めていきます。</p>
45	<p>大型施設をつくることにも反対です。大型施設は、区外の方が利用することが多くなると想定します。区民の税金活用なら、区民第一に、他区から人を呼び込むという発想はやめてください。</p>	<p>区内外から人が往来する施設を整備することで、区全体の経済の活性化も期待できます。</p>
46	<p>パブリックコメントの募集について 募集期間が短いです。1か月を保障してください。また、大事な意見募集です。多くの方から意見が集まる工夫をどうするか、十分検討し、その方策についてもお示しください。</p>	<p>本計画は、8月に【基本的な考え方】を示し、意見募集（パブリック・コメント）を実施しています。今回、計画全編を示して2回目の意見募集（パブリック・コメント）を実施しました。今後も、意見募集（パブリック・コメント）の制度を適切に運用するとともに、周知方法を含め、より多くの方の意見を伺うための方法を検討していきます。</p>
47	<p>船堀に40年近く住んでいます。横浜市の街中から引っ越して来た時は、保育園が身近にあり、船堀駅が都営新宿線の始発駅であった為通勤にとっても便利。ちょっとのどかな部分もあって、子育ての江戸川区を実感してました。ただ、図書館が近くにないのは残念でした。これ迄殆ど利用したことがありません。</p> <p>急行停車駅で、江戸川区のシンボルとも言えるタワーホールも出来き、通勤にも便利でマンションがどんどん増え、スーパーマーケットも充実しているというのに、文化面での遅れを感じざるを得ません。</p> <p>公共施設再編・整備計画（案）を見ると、少子化問題、公共施設老朽化問題が近未来の大きな課題となっていますが、5年後には区の中核機関である庁舎が移転し、日中の人口も増え、子育て世帯が増えることは確実ですから、将来</p>	<p>ご意見として承ります。</p> <p>今後、本計画の考え方を基に各地域で求められる施設の具体的な検討を行っていきます。</p>

	<p>的に必要な公共施設としての図書館（1つの建物とは限りません）をつくることをこの機会に是非ともご検討頂きたいと思います。</p> <p>図書館を利用しない人の3割は近くにないからというデータもあります。地理的にも利便性の高いこの地域に、人への投資にも繋がっていく図書館をつくり、真に文化的にも誇れる街づくりを目指して頂きたいと思います。</p>	
48	<p>資料編まで含めると400ページを超える資料が、10月1日に区公式サイトのパブリックコメントのページに掲載されたが、公開から14日間という意見募集期間は、あまりにも短すぎると考える。</p> <p>これまでに公開されていた文書・資料ではないことに鑑みても、公開後に内容を十分に把握した上で、意見を提出する為の期間(30日程度)を設けるべきであったのではないかと。</p> <p>広報えどがわ7月1日号では、一連の計画の大まかな考え方に対する意見募集を実施したが、その際は、20日間の募集期間が設けられた。示された資料は、広報の1ページに過ぎない。</p> <p>その後の広報えどがわ8月1日号では、『江戸川区公共施設再編・整備計画【基本的な考え方】』について、14日間のパブリックコメントの募集期間が設けられた。</p> <p>今回は、最も詳細な内容が資料編とともに示されたにも関わらず、7月1日号の際の20日間の募集期間よりも短い意見募集期間となったことについて、区の考え方を伺いたい。</p>	<p>本計画は、8月に【基本的な考え方】を示し、意見募集（パブリック・コメント）を実施しています。今回、計画全編を示して2回目の意見募集（パブリック・コメント）を実施しました。</p> <p>今後も、本計画の推進に向けて、様々な場を活用しながら区民の意見を伺っていきます。</p> <p>また、「広報えどがわ7月1日号」の意見募集は、「2100年に向けたアクションプラン」<sub>1</sub>「ともに生きるまちを目指す条例の関連条例」と合わせての意見募集であったため、20日間の募集期間としています。</p>
49	<p>「民間資源・活力・ノウハウの積極的活用」として、PPP・PFIなどが列挙されているが、人口減少の影響は、行政だけに及ぶものではないはずで、民間が万能であるかのような描き方には、疑問を感じる。</p> <p>行政については、複数のパターンで将来予測を試算したことが示されているが、民間についても、同様の将来予測のデータ等を示すことが</p>	<p>より質の高い行政サービスを提供できるよう、民間との連携は重要と考えます。官民連携する上で、メリット・デメリットを見極め、役割分担を明確化し、最適な手法を検討していく必要があります。</p> <p>これまで培ってきた区役所のきめ細やかなサービス運営と、地域との信頼関係を維持し、民間事業者の持つ専門的なスキルを発揮させ</p>

	<p>適切ではないか？</p> <p>例えば、「2024年問題」として、運転手や建設現場の人手不足など、すぐ目前にも、民間活気に影響が考えられる問題がある。地方の政令指定都市等においても、公共施設の指定管理者募集に、応募が1社しか来ないケースなど競争により良いサービスが提供されるという従来の民間活用のメリットが失われてきている現状等も考慮されるべきである。</p>	<p>ることが出来る仕組みを検討していきます。</p>
50	<p>「民間資源・活力・ノウハウの積極的活用」のページに、南小岩小学校の改築時の民間スイミングスクールの利用を例示しているのは、疑問を感じる。</p> <p>改築時の一時的な対応を、この項目の事例に用いることは、ふさわしくないのではないか？</p>	<p>ご意見として承ります。</p> <p>民間の持つ資源・活力・ノウハウを活用する方策は、規模によってもさまざまであると考えています。</p>
51	<p>「受益者負担のあり方」として、スポーツセンターのプール料金の試算が例示されているが、なぜ現在の料金が設定されているか、従来の区の料金設定に対する考え方も併せて明示する必要があると考える。バランスを欠いた記載に感じた。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>
52	<p>資料編『江戸川区スポーツ施設需要調査』には、「検討のまとめ」として、プールの章に、「稼働率の低い学校プールの整備費、維持管理費の削減」の記載がある。</p> <p>学校プールに稼働率という考えをあてはめることには、非常に違和感を感じる。教育施設として基本的に必要な機能と位置付けるべきではないか？</p> <p>また、近年建設された小学校の相撲場の稼働率やコストなどは対象とされていないことも、バランスを欠いた検討ではないか？</p>	<p>ご意見として承ります。</p> <p>第5章では他自治体の学校プールの事例を掲載しています。第6章のまとめの部分では他自治体の事例も踏まえ今後の検討の方向性を示しています。</p>
53	<p>資料編『江戸川区スポーツ施設需要調査』には、「検討のまとめ」として、プールの章に、「水泳専門の指導者（民間スイミングクラブなど）の登用による教員の負担軽減、授業の効率化」との記載がある。</p> <p>現在、葛飾区では、民間の水泳インストラク</p>	<p>ご意見として承ります。</p>

	<p>ターが、学校の水泳指導にあたっているのが、個人事業主への再委託などが指摘されており、慎重に対応すべきと考える。</p>	
54	<p>資料編『文化施設需要調査』で、文化施設の調査対象には、小松川・葛西・東部・鹿骨の各区民館が含まれているが、なぜか築年数で同程度の小岩区民館が、はなから除外されている。また、その理由も明示されていないのはなぜか？</p>	<p>P.2 に掲載している通り区立の文化施設、固定席がある地域施設・区民館・図書館を対象としています。</p>
55	<p>船堀に越してきて最初のビックリ・ガッカリは図書館が徒歩圏内に無いことでした。中央、葛西はバス、篠崎は地下鉄です。ついおっくうになり図書館から足が遠のいてしまいました。ベビーカーを押しての場合、杖をついての場合はより大変でしょう。</p> <p>新設される区役所に図書館(室)が併設されたらどんなに便利か有難いか！ 幼児、子供連れ、杖をついての老人達にとって人生が軽く、より豊かになるでしょう</p> <p>予算、収容能力その他諸問題はありますが小規模でも船堀そして周辺住民の文化、経済、日常の利便性、さらに沢山のメリットにかんがみ、是非船堀図書館(室)の併設を心から願っています。</p> <p>聞くところによると区役所隣接の図書館がないのは江戸川区だけと、本当ですか？(中央図書館は現区役所には近いですが) 船堀図書館の実現切に願っています。</p>	<p>ご意見として承ります。</p> <p>今後、本計画の考え方を基に各地域で求められる施設の具体的な検討を行っていきます。</p>
56	<p>コロナ下での3回のワークショップで、今回の最終確定(案)とするなら、意見募集期間・周知方も該当施設・利用者の声も反映するに、短すぎる。</p> <p>編成の方針が既成事実化として、進行してしまう。</p> <p>2023、9月の有識者の意見でも、区民にも区財政にも大きな影響が出るので、広く区民へ周知が述べられている。</p> <p>・具体的な施設計画の際、地域住民の参加や</p>	<p>ご意見として承ります。</p> <p>今後、本計画を推進していく際には、有識者や区民よりいただいたご意見を踏まえて、各地域で求められる施設の具体的な検討を進めていきます。</p>

	<p>意見反映のプロセス重視の指摘</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な庁内協議の透明化</li> <li>・ミニ区役所のコンセプトでは、職員数の減少も要求されるので、仕組みや体制などについて、十分に検討する必要</li> <li>・運営の委託を想定した官民協同や、公共施設の「収益性」を常に考える</li> </ul> <p>等である。</p> <p>これらの、担保の姿勢や議論の有無が明確のないまま、(案)が進む事に反対です。</p>	
57	<p>計画のエビデンスを、人口・財政・現状等から述べ、公共施設の適正量を3割減と前提に決めている。</p> <p>その為、施設の集約・複合化や民間資源・活力等の積極的活用がポイントになっている。</p> <p>今までの公的施設としての役割や、調整機能の重要性を検証せず、民間市場に投げ出す姿勢は、公的役割の後退で反対です。</p> <p>民間活力との役割分担では、全面的に民間主導型を進める方向で、コスト削減・公敵役割の縮小を明らかにし、財政コスト削減等のメリットばかりを述べています。</p> <p>この間、区役所が進めて来た、民間委託・PFI方式等のメリット・デメリット等はどうか十分な検証を求めます。</p> <p>大量の不安定労働者の雇用・低賃金・病欠・退職の発生等は区の責任で防止。</p> <p>研修の継続・専門性の確保・委託等のチェック体制の強化は区の役割ではないでしょうか。</p>	<p>より質の高い行政サービスを提供できるよう、民間との連携は重要と考えます。官民連携する上で、メリット・デメリットを見極め、役割分担を明確化し、最適な手法を検討していく必要があります。</p> <p>これまで培ってきた区役所のきめ細やかなサービス運営と、地域との信頼関係を維持し、民間事業者の持つ専門的なスキルを発揮させることが出来る仕組みを検討していきます。</p>
58	<p>編成の方針では、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉施設での、ミニ区役所への複合化では、管理主体の明確化が必要です。</li> <li>・保育園の多機能化や施設再編では、利用者・現場との十分な協議を保障する事。</li> <li>・学校施設の拠点化等では、公的役割の明確化。</li> </ul> <p>多様な利用での管理・調整主体として公的体制の存続を求める。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>
59	<p>P75 の受益者負担のあり方検討</p>	<p>ご意見として承ります。</p>

	<p>いつもコミュニティ会館を利用しています 一定は理解出来ますが、利用する人しない人では差はあります。区民の税金を大事に使うことは良いことですが年に何回かは無料開放をして欲しいです。</p> <p>例えば敬老の日など高齢者が増える中でいこいの家的な交流する場が必要です。特に独居老人が年々ふえる中では配慮して欲しいです。又、使用料を値上げしないで使いやすいようにして欲しい</p>	
60	<p>P30 民間資源の活用・ノウハウの積極的活用 プール指導のあり方で水泳授業を民間スイミングスクールを活用するとありましたが今迄利用してきた学校のプールを改築しないで民間を利用するのはよいという考えは賛成できません</p> <p>やはり移動には時間がかかり交通の事故など心配する問題が多々あります。自校のプールの方が教員が指導し子どもの状況を把握しているので保護者も安心です。やはり低学年から高学年まで安心して使用できます。</p>	<p>今後の学校プール施設の整備については、安定的な授業の実施や教職員の負担軽減、地域住民の利用など、さまざまな視点から検討を行っていきます。</p>
61	<p>公園管理運営を民間に委託して売店等を作り公園として十分に遊べるスペースをとる本来の公園の目的を貫き区が今迄通り責任をもって運営して頂きたいです。自然を大事に江戸川区は 23 区でも公園が多く他区からも遠足に来たりする程です。やはり今ある公園や施設を大事にして住民のサービスが低下しないようにして欲しいです。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>
62	<p>資料編も含めると 400 ページに及ぶ計画（案）ですので、意見提出期限に間に合うようには読み切れません。提出期間の延長や、提出のよびかけを何度も行うようにするなどの改善が必要に思います。区報に小さく載っていますが、気がつかない人もいました。意見募集方法の改善をお願いします。</p>	<p>本計画は、8月に【基本的な考え方】を示し、意見募集（パブリック・コメント）を実施しています。今回、計画全編を示して2回目の意見募集（パブリック・コメント）を実施しました。</p> <p>今後も、本計画の推進に向けて、様々な場を活用しながら区民の意見を伺っていきます。</p> <p>また、パブリックコメントの制度を適切に運用するとともに、周知方法を含め、より多くの方の声を伺うための方法を検討していきます。</p>

63	<p>国の公共施設等総合管理計画は、公共施設の統廃合などを推進し、経済効率性を最優先になっているとの指摘があります。江戸川区の公共施設再編・整備計画が経済効率性優先に走ることなく、区民の生活を支え、多様な要求に応える計画になることを望みます。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>
64	<p>P16 や P26 に「施設の集約・複合化」が示されています。熱年者、子育て支援、その他の各施設は、それぞれ専門的運営がされ、区民のニーズの応えなくてはならない役割を担っています。面積削減効果とか維持管理コストの縮減につながるとされていますが、経済効率を優先させる方向に走ることがない施設の管理、運営がされるべきと考えます。</p>	<p>ご意見として承ります。</p> <p>施設を集約・複合化していくことで、面積が削減され、維持管理コストの縮減につながるだけでなく、これまで交流のなかった世代とのつながりが新たに生まれる場として、多世代・多文化交流を促進していきます。</p>
65	<p>P29 の跡地の有効活用についてです。「学校の統廃合等による跡地は(略)当面の間、公園としての利用を図ることを基本」とされています。</p> <p>これまで、平井や小松川地域では「学校跡地に特別養護老人ホームを」との要望が区議会で出されていたことを承知しています。また、私は江戸川5丁目に住んでいますが、近くの小学校2校が統合されました。地域では、「跡地の活用で高齢者が受診しやすい病院を誘致してほしい」との要望があります。</p> <p>学校跡地などまとまった面積を持つ用地については公園としての利用も含め、地域住民の要望をリサーチして、その要望に沿った活用をはかることが望ましいと思います。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>
66	<p>区庁舎の移転計画が明らかにされ、船堀駅周辺のまちづくりに注目が集まっています。地域住民はもとより、広く区民の意見を集約したまちづくりとなることを求めます。</p> <p>区としては、船堀や小岩北部地域などは図書館の空白地域(身近にない地域との意です)と認識されているようですが、開発で大きく街が変化する船堀駅周辺に、地域の要望に沿った図書館建設方針を持つべきではないでしょうか。</p>	<p>ご意見として承ります。</p> <p>今後、本計画の考え方を基に各地域で求められる施設の具体的な検討を行っていきます。</p>

	<p>また、小岩北部地域や、鹿骨地域なども区立図書館が身近にないと考えます。</p> <p>P59～P60に「生きがいづくり(文化・スポーツ・趣味)ができる環境の確保」が謳われています。誰もが生き生きと自分らしく暮らすために・・・の叙述もあります。こうした方向に沿って図書館をはじめとした文化・スポーツ施設の充実に努力していただき、区民要求に応えていただくようお願いします。</p>	
67	<p>その他、カーボンマイナスの取り組み、防災対策などについても、区民生活支援の計画になることを望むものです。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>